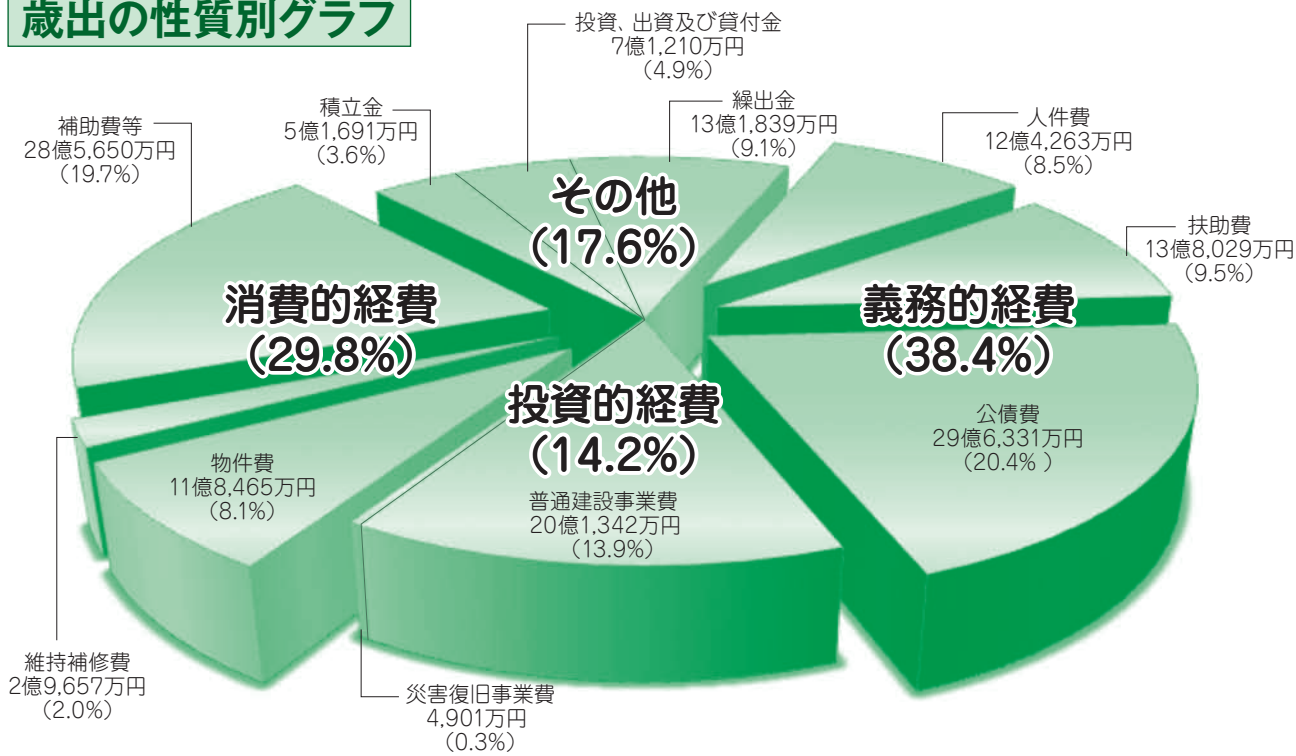


歳出の性質別グラフ



一般会計歳出 合計 145億3,378万円

町議会の活動・運営のためのお金	議会費	8,114 万円	0.6%
全般的な管理事務、徴税、戸籍、統計、選挙などのお金	総務費	208,919 万円	14.4%
生活保護、子ども手当などの福祉のためのお金	民生費	218,361 万円	15.0%
ごみ処理の経費や健康維持のためのお金	衛生費	177,690 万円	12.2%
失業対策や勤労者の福利厚生のためのお金	労働費	1,734 万円	0.1%
農業・畜産業・林業の振興のためのお金	農林水産業費	186,996 万円	12.9%
産業や観光の振興のためのお金	商工費	31,160 万円	2.1%
道路や街路の整備・維持管理のためのお金	土木費	205,559 万円	14.2%
消防活動のためのお金	消防費	42,489 万円	2.9%
小・中学校教育、公民館などのためのお金	教育費	63,343 万円	4.4%
借入金の返済のためのお金	公債費	297,112 万円	20.4%
災害を復旧するためのお金	災害復旧費	4,901 万円	0.3%
普通財産を取得するためのお金	諸支出金	7,000 万円	0.5%

町がどんなことにお金を使っているかわかったわ。



あったのか、またどういった行政目的にどれだけの税金を使ったのかを見ることが出来ます。

歳出は目的別に分類するだけでなく、人件費や扶助費など支払ったお金の性質別に分類することで、義務的な経費、消費的な経費、投資的な経費などの割合を見ることが出来ます。平成29年度一般会計決算の性質別分類は円グラフのとおりです。

義務的経費が55億8,623万円(38.4%)、消費的経費が43億3,772万円(29.8%)、投資的経費が20億2,443万円(14.2%)でした。

平成29年度 奥出雲町決算報告について

平成29年度の一般会計及び各特別会計の歳入歳出決算が、9月定例議会で認定されました。町民の皆さんが納められた税金や国から交付される地方交付税などがどれだけ入り、どのように使われたのか、町の決算状況をお知らせします。

町のお金って
どうなっているの？



一般会計歳入 合計 148億3,536万円

自主財源 25.6%	町 税	122,764 万円	8.3%	町民税、固定資産税など
	使用料及び手数料、分担金、負担金	42,969 万円	2.9%	情報や公民館の使用料、事業の実質負担など
依存財源 74.4%	繰入金	57,313 万円	3.9%	基金や特別会計から繰り入れるお金
	諸収入	89,028 万円	6.0%	貸付金の元利収入など
	財産収入、寄附金、繰越金	66,366 万円	4.5%	財産収入、寄附金など
	地方交付税	663,114 万円	44.7%	税収の少ない市町村に一定のサービスが提供できるよう国が交付する税
	地方譲与税、利子割交付金等	39,302 万円	2.6%	国や県が徴収した税のうち市町村に配分されるお金
	国庫支出金	106,859 万円	7.1%	国が特定の事務事業に対して交付するお金
	県支出金	106,046 万円	7.2%	県が特定の事務事業に対して交付するお金
	町 債	189,775 万円	12.8%	施設の整備や地方交付税の収支不足について国や銀行などから借入るお金

決算から分かること

歳入決算額のうち依存財源といわれる地方交付税、地方譲与税、国・県支出金、町債等を合計すると74.4%で、依然として国や県に依存した財政構造となっています。

また、1年間に町が収入したお金(歳入)は、町税や町債などに分類し、町が支出したお金(歳出)は、その目的によって分類しています。これによって町が自由に使い道を決めることができるお金がどのくらい

歳 出

歳出総額の決算額は145億3,378万円です。前年度と比較して13億3,825万円(8.4%)の減となりました。

歳 入

歳入総額の決算額は148億3,536万円です。前年度と比較すると13億6,351万円(8.4%)の減となりました。

一般会計